

1 この科目の構成について

教科	情報	科目	メディア基礎			単位	3	単位
対象コース	総合コース (情報クラス)	コース	対象クラス	2 年	5 組			
使用教科書	全商情報処理検定模擬問題集3級（実教出版）							
使用副教材	・全商情報処理検定問題集（2級・3級） ・日本情報処理検定問題集（2級・3級）							

2 この科目の学習目標・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか メディア基礎では、情報処理の専門的な知識と技能について、データベースソフトウェア・表計算ソフトウェアを通して、1年次で学習した知識以上に理解を深めて下さい。また、情報発信の方法とその問題点について理解を深め、情報化が及ぼす影響について考えて下さい。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 実技は、教師の説明・指示を良く理解し、授業に集中して取り組む必要がある。 授業中は、教師の説明を聞き逃さないよう集中し、良く理解すること。私語は大迷惑。 (2) 家庭 全商情報処理検定（3級）の筆記対策をしっかりと行うこと。 検定対策＝定期考査に向けての勉強となります。 実技については、家庭にパソコンがない場合も想定されるので、その場合は学校で1日30分でもいいので実技の練習を行ってください。

3 この科目の評価規準と評価方法について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価規準 (内容のまとめごと)	課題や作業への取り組みが積極的であり、授業内容を進んで理解しようとしたかを見ます。また、課題の提出状況と内容も見ます。	課題に対しどのソフトを使うか、どうやって行うかを見ます。また、トラブル時の対処方法について見ます。	課題の意味を理解し、その内容をどのように表現していくかを見ます。
評価方法	・定期考査 ・平常課題	・定期考査 ・平常課題	・授業内における取り組み ・平常課題の取り組み ・長期休暇課題の取り組み

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点		
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主
1	4	○コンピュータ室の利用について ・ログイン・ログアウトについて ※毎授業時に、10分計測を行いタイピングを実施	・配付されたIDとパスワードが個人情報であることを学ぶ。 正確なホームポジションで入力することを身に着け、正しいタッチメソッドの修得を目指す。	○		○
	5			○		
2	6	○日本情報処理検定(表計算)3級について(4月中旬～6月中旬)	○基本的なExcelの操作や関数の使用方法など基礎・基本を徹底させる。 ○情報処理検定3級の内容を行う。	○		○
			定期的に、検定合格に向けての小テストを実施する。	○		○
	7	・確認テストを実施 第2回考査 ○検定試験	日本情報処理検定(情報処理)3級受検	○	○	○
		○日本情報処理検定(データベース)3級について(7月上旬～10月上旬)	○基本的なExcelの操作や関数の使用方法など基礎・基本を徹底させる。 ○情報処理検定3級の内容を行う。	○		○
			定期的に、検定合格に向けての小テストを実施する。	○		○
	9	○検定試験	定期的に、検定合格に向けて小テストを実施する。	○		
	10	○全商情報処理検定(3級)の学習(10月上旬～1月下旬) ○日本情報処理検定(情報処理)2級の学習(10月上旬～12月上旬)	日本情報処理検定(情報処理)	○		
		・確認テストを実施 第4回考査	全商情報処理検定	○	○	○
				○	○	○
	11	全商情報処理検定(2級)の学習 ○検定試験				
3	12	○検定試験	ホームページを作成するうえで必要になってくるHTMLについて学習する。	○		
	1	ホームページ作成	二人一組でグループを作り、仮想企業を作ってもらいます。そこで、一つのテーマを決め、それを紹介するホームページを作成する。実際に製作していく段階では、インターネット教材(3年生で使用)を使いながら、学習を進めていく。	○		
	2		完成したホームページを生徒同士で評価していく。	○		○
	3	完成披露会			○	○



1 この科目の構成について

教科	商業	科目	簿記	単位	4 単位
対象コース	総合コース（情報コース）	対象クラス	2 年	5 組	
使用教科書	実教出版 新簿記				
使用副教材	実教出版 反復式 簿記問題集 全商3級				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 帳簿記入などの実技は、教師の説明・指示を良く理解し、授業に集中して取り組む必要がある。授業中は、教師の説明を聞き逃さないよう集中し、良く理解すること。 (2) 家庭 全国商業高等学校協会主催 簿記検定 3 級 検定試験・考査の範囲については、家庭での予習・復習が必要である

3 この科目の評価基準と評価方法について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価基準	第 1 編 簿記の基礎 簿記の基礎 ・簿記の意味・目的を明らかにし、記帳の重要性や簿記の種類を理解し、基本的な技術を身につけている。 資産・負債・純資産と貸借対照表 ・資産・負債・純資産（資本）の意味を明らかにし、貸借対照表の意味・形式などを理解し、その作り方の基本的な技術を身につけている。 収益・費用と損益計算書 ・収益・費用の意味を明らかにし、損益計算書の意味・形式などを理解し、その作り方の基本的な技術を身につけている。 取引と勘定 ・勘定・勘定科目・勘定口座などの意味を理解し、勘定の記入法などの基本的な技術を身につけている。	第 1 編 簿記の基礎 簿記の基礎 ・簿記の意味・目的について観察・実技を通して探究し、記帳の重要性や簿記の種類を見だして表現している。 資産・負債・純資産と貸借対照表 ・資産・負債・純資産（資本）や貸借対照表について観察・実技を通して探究し、その意味・形式などを理解し、その作り方を見だして表現している。 収益・費用と損益計算書 ・収益・費用や損益計算書について観察・実技を通して探究し、その意味・形式などを理解し、その作り方を見だして表現している。 取引と勘定 ・勘定・勘定科目・勘定口座について観察・実技を通して探究し、勘定の記入法などを理解し、その作り方を見だして表現している。	第 1 編 簿記の基礎 簿記の基礎 ・簿記の意味・目的や記帳の重要性や簿記の種類について主体的に関わったり、見通しをもったりし、探究しようとしている。 資産・負債・純資産と貸借対照表 ・資産・負債・純資産（資本）や貸借対照表の意味・形式などに主体的に関わったり見通しをもったりし、探究しようとしている。 収益・費用と損益計算書 ・収益・費用や損益計算書の意味・形式などに主体的に関わったり見通しをもったりし、探究しようとしている。 取引と勘定 ・勘定・勘定科目・勘定口座や勘定の記入法などに主体的に関わったり見通しをもったりし、探究しようとしている。

3 この科目の評価基準と評価方法について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価基準	第1編 簿記の基礎 仕訳と転記 ・貸借平均の原理・仕訳・転記についての基本的な技術を身につけている。 仕訳帳と総勘定元帳 ・仕訳帳の形式・記入法や総勘定元帳の意味を明らかにし、仕訳帳からの転記の基本的な技術を身につけている。 試算表 ・試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを明らかにし、その作り方の基本的な技術を身につけている。 精算表 ・精算表の役割を明らかにし、その作り方の基本的な技術を身につけている。 決算 ・決算の意味・必要性・重要性や決算手続き全体の流れを理解し、その記帳の基本的な技術を身につけている。 第2編取引の記帳（その1） 現金預金などの取引 ・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法や現金過不足の処理法と当座預金勘定の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法ならびに小口現金のシステムを理解し、基本的な技術を身につけている。 商品売上の取引 ・3分法による商品売上の記帳方法や仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を明らかにし、その記帳の基本的な技術を身につけている。 掛け取引 ・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法や売掛金元帳と買掛金元帳の役割を明らかにし、その記帳の基本的な技術を身につけている。 手形の取引 ・手形の種類を明らかにし、約束手形のしくみと手形記入帳の役割と記帳方法を理解し、その基本的な技術を身につけている。 その他の債権・債務の取引 ・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを理解し、その基本的な技術を身につけている。	第1編 簿記の基礎 仕訳と転記 ・貸借平均の原理・仕訳・転記について観察・実技を通して探究し、基本的な記帳方法を見だして表現している。 仕訳帳と総勘定元帳 ・仕訳帳の形式・記入法や総勘定元帳について観察・実技を通して探究し、仕訳帳からの転記の基本的な技術を見だして表現している。 試算表 ・試算表の役割・種類・それぞれの特徴などを観察・実技を通して探究し、その作り方の基本的な技術を見だして表現している。 精算表 ・精算表の役割を観察・実技を通して探究し、その作り方の基本的な技術を見だして表現している。 決算 ・決算の意味・必要性・重要性や決算手続き全体の流れを観察・実技を通して探究し、その記帳の基本的な技術を見だして表現している。 第2編取引の記帳（その1） 現金預金などの取引 ・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法や現金過不足の処理法と当座預金勘定の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法ならびに小口現金のシステムを観察・実技を通して探究し、基本的な技術を見だして表現している。 商品売上の取引 ・3分法による商品売上の記帳方法や仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を観察・実技を通して探究し、その記帳の基本的な技術を見だして表現している。 掛け取引 ・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法や売掛金元帳と買掛金元帳の役割を観察・実技を通して探究し、その記帳の基本的な技術を見だして表現している。 手形の取引 ・手形の種類を明らかにし、約束手形のしくみと手形記入帳の役割と記帳方法を観察・実技を通して探究し、その基本的な技術を見だして表現している。 その他の債権・債務の取引 ・売掛金・買掛金・受取手形・支払手形以外の各種の債権・債務について、その記帳方法や違いなどを観察・実技を通して探究し、その基本的な技術を見だして表現している。	第1編 簿記の基礎 仕訳と転記 ・貸借平均の原理・仕訳・転記について主体的に関わったり探究しようとしている。 仕訳帳と総勘定元帳 ・仕訳帳の形式・記入法や総勘定元帳について主体的に関わったり、仕訳帳からの転記を探究しようとしている。 試算表 ・試算表の役割・種類・それぞれの特徴などに主体的に関わったり、その作り方を探究しようとしている。 精算表 ・精算表の役割などに主体的に関わったり、その作り方を探究しようとしている。 決算 ・決算の意味・必要性・重要性や決算手続き全体の流れを主体的に関わったり、その記帳の基本的な技術を探究しようとしている。 第2編取引の記帳（その1） 現金預金などの取引 ・現金に関する記帳方法と現金出納帳の記帳方法や現金過不足の処理法と当座預金の記帳方法と当座預金出納帳の記帳方法ならびに小口現金などに主体的に関わったり、基本的な技術を探究しようとしている。 商品売上の取引 ・3分法による商品売上の記帳方法や仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法などに主体的に関わったり、その記帳の基本的な技術を探究しようとしている。 掛け取引 ・掛け取引の意味を明らかにし、売掛金勘定と買掛金勘定の記帳方法や売掛金元帳と買掛金元帳などに主体的に関わったり、その記帳の基本的な技術を探究しようとしている。 手形の取引 ・手形の種類を明らかにし、約束手形のしくみと手形記入帳の役割と記帳方法などに主体的に関わったり、その基本的な技術を探究しようとしている。 その他の債権・債務の取引 ・その他の債権・債務について、その記帳方法や違いなどに主体的に関わったり、その基本的な技術を探究しようとしている。

3 この科目の評価基準と評価方法について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価基準	第2編 取引の記帳 固定資産の取引 ・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法と固定資産台帳の基本的な技術を身につけている。 個人企業の資本の取引 ・個人企業における資本の元入れ、引き出し・引出金勘定を用いた場合の記帳方法などの基本的な技術を身につけている。 第3編 決算（その1） 決算整理（その1） ・決算整理の意味とその必要性と3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法などの基本的な技術を身につけている。 8桁精算表 ・8桁精算表の意味を明らかにし、その作成の基本的な技術を身につけている。 帳簿決算 ・帳簿決算の意味とその必要性と総勘定元帳の締め切り、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の基本的な技術を身につけている。	第2編 取引の記帳 固定資産の取引 ・固定資産の意味と種類を明らかにし、固定資産に関する記帳方法と固定資産台帳のなどを通して探究し、関係性を見出だして表現している。 個人企業の資本の取引 ・個人企業における資本の元入れ、引き出し・引出金勘定を用いた場合の記帳方法などを通して探究し、関係性を見出だしている。 第3編 決算（その1） 決算整理（その1） ・決算整理の意味とその必要性と3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法などを通して探究し、関係性を見出だしている。 8桁精算表 ・8桁精算表の意味を明らかにし、その作成の基本的な技術などを通して探究し、関係性を見出だしている。 帳簿決算 ・帳簿決算の意味とその必要性と総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成などを通して探究し、その関係性を見出だしている。	第2編 取引の記帳 固定資産の取引 ・固定資産の意味と種類、記帳方法に主体的に関わったり、その基本的な技術を探究しようとしている。 個人企業の資本の取引 ・個人企業における資本の元入れ、引き出し・引出金勘定などの記帳方法に主体的に関わったり、その基本的な技術を探究しようとしている。 第3編 決算（その1） 決算整理（その1） ・決算整理の意味とその必要性と3分法による商品売買に関する勘定の整理、貸し倒れの見積もり、減価償却の処理法などに主体的に関わったり、探究しようとしている。 8桁精算表 ・8桁精算表の意味を明らかにし、その作成の基本的な技術に主体的に関わったり、探究しようとしている。 帳簿決算 ・帳簿決算の意味とその必要性と総勘定元帳の締め切りと、繰越試算表・貸借対照表・損益計算書の作成に主体的に関わったり、探究しようとしている。
評価方法	簿記に関する基本的な記帳方法を理解し、知識を身につけていることを定期考査や授業内小テストで総合的に評価します。	簿記に関する基本的な記帳方法がなぜ今の方法になっているかを探究しつつ合理性を的確に表現できているかを定期考査や授業内小テストで総合的に評価します。	簿記に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする態度を授業内小テスト、課題の提出状況で評価します。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	第1編 簿記の基礎 簿記に関する基本的な知識や、一連の帳簿記入の体系を理解する。	第1章 簿記の基礎	●	●	●	
			第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表	●	●	●	
			第3章 収益・費用と損益計算書	●	●	●	
			第4章 取引と勘定	●	●	●	
	5		第5章 仕訳と転記	●	●	●	
	6		第6章 仕訳帳と総勘定元帳	●	●	●	
	7		第7章 試算表 第8章 精算表 第9章 決算	●	●	●	
2	8	第2編 取引の記帳 企業の経営活動によって発生するさまざまな取引について、基本的な記帳方法や勘定科目の明細を示す帳簿について理解する。	第10章 現金・預金などの取引	●	●	●	
	9		第11章 商品売買の取引	●	●	●	
			第12章 掛け取引	●	●	●	
	10		第13章 手形の取引	●	●	●	
			第14章 その他の債権・債務の取引	●	●	●	
			第15章 固定資産の取引	●	●	●	
	11		第16章 個人企業の資本金の取引 第17章 販売費及び一般管理費と税金の取引	●	●	●	
3	12	第3編 決算（その1） 決算にさいして必要な修正（決算整理）と、報告書類としての損益計算書貸借対照表の作成について理解する。	第18章 決算整理（その1）	●	●	●	
			第19章 8桁精算表	●	●	●	
	1		第20章 帳簿決算	●	●	●	